

e-ジェクター工法

簡単セット! 簡単注入!

- 自動式樹脂注入器
(バネ加圧)
 - 追い打ち簡単
 - 低圧タイプ、
高圧タイプの2種類
- ※低圧タイプは
【自動式低圧樹脂注入工法】適合品

規格

- 容量…………… 25ml/本
- 最小ロット…………… 1セット(50個入)
- セット内容…………… 本体50個
座金50枚
ノズル2本

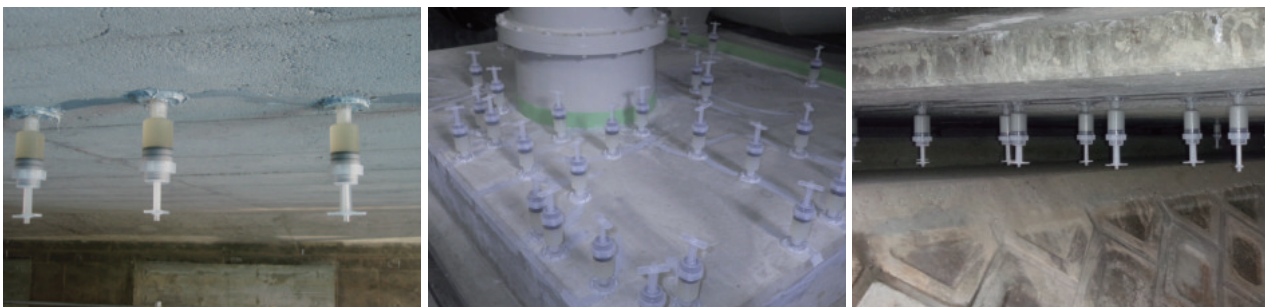
PP:本体(容器、インジェクター)、座金、ノズル
鉄:バネ

※価格は販売店様にお問い合わせください。



e-ジェクター工法とは?

コンクリート構造物のひび割れに、エポキシ樹脂を自動的に、かつ低圧で連続注入する工法です。当工法は、国土交通省大臣官房長官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書」やJR都市機構の「保全工事共通仕様書」に記載されている自動式低圧樹脂注入工法に準じています。



e-ジェクター工法の特長

- バネ加圧により、最後まで均一に注入できます。
- 樹脂を充填したあとは、ひねってセット、ひねって注入開始の簡単設計。
- 注入開始後、バネ加圧により自動注入されますので、大きな面積を少人数で施工可能です。
- 圧入器(別売り)の使用により、天井面への注入も可能です。
- 容器に目盛りが付いているため、計量管理が確実に行えます。
- 樹脂を満タン充填し、座金に取り付けた状態でも、全長15cm程度しかない為、狭い箇所での施工が可能です。

1m当たりの材料の数量積算例

内容	品名	数量	備考
注入器	e-ジェクター	4本	
注入材	ネオワンGH-60M	0.25kg	25cc×4本×比重1.15×ロス10%×2個
シール材	イナヅマシール	0.33本	1本(333ml)当り3m

1 調査準備

ひび割れの状態について確認し、補修範囲・行程などを確認する。
調査結果に基づき必要材料を取りそろえる。



2 下地処理

ひび割れに沿い、5cm程度の幅で、ハケ等を用いてレイダンスや塵を除去する。
油脂分はシンナーを含んだウェスで拭き取る。
濡れている場合は、ドライヤーで乾燥させるか、自然乾燥するまで作業を中止する。



3 座金の取り付け

ひび割れ幅に応じて取り付け位置を決定し、チョークなどでマークする。
その後、シール材を座金に塗布し、マークした位置に沿い、
座金の中心がひび割れの真上になるように取り付ける。



4 シール

ひび割れ表面をシール材で確実にシールし、注入樹脂が流失しないようにする。
シール材を養生し、硬化しているのを確認する。



手動注入の場合

5

樹脂の計量混合

主剤と硬化剤を、規定量になるように正確に計量し、色むらがなくなるまで充分に混合する。



圧入器注入の場合

圧入器への樹脂充填

主剤と硬化剤を、一対一の割合になるよう計量し、圧入器のカードリッジにそれぞれ充填する。



6 注入(手動)

e-ジェクターに、混合したエポキシ樹脂を充填し、注入作業を行う。シリンダー内の樹脂がなくなれば、すみやかに注入材を充填した器具と取り替えるか、後ろから追い打ちする。



注入(圧入器)

座金にe-ジェクターを取り付け、後ろから圧入器により注入作業を行う。シリンダー内の樹脂がなくなれば、すみやかに追加注入を行う。



7 養生

注入作業終了後、e-ジェクターに樹脂が残った状態で硬化させ、そのままの状態ですべて養生する。



8 仕上げ

ディスクサンダーなどを用いて、e-ジェクターおよびシール材を除去し、下地面を滑に仕上げる。エポキシ樹脂の使用量とe-ジェクター内の残量から、ひび割れへの注入量を確認する。

